

舞鶴TMOニュース

Vol.34

TMO=Town Management Organization
(まちづくり機関)

市民と共に進める中心市街地活性化事業

西地区「歴史のまちづくり」

平成20年11月20日～24日、「歴史を活かしたまちづくり事業」の取り組みとして、西地区でも歴史的なまち並みの風情が残っている丹波通りに、統一感と城下町らしさを感じて頂くため、「のれん」の掲出事業を行いました。



のれん (丹波町にて)

これは、平成18年に行いました「市民と共に進める中心市街地活性化事業」の中の、「歴史を活かしたまちづくりワーキンググループ」で1年間議論を重ねて出たアイデアの中で、短期的に実践できるものを取り組んでいこうと実現したものです。

「のれん」には、丹波町にあります恵比須神社に因んでえびす様をデザインし、各戸の苗字を入れました。掲出期間には、えびす市が開催され丹波通りもたくさんの方達でにぎわいました。期間中、丹波町を訪れた方達約200人に、のれんと丹波町の景観に関するアンケートを行いました。

のれんの掲出に関してはほとんどの方々が、雰囲気があり、統一感があってよい取り組みだという意見をいただきました。

景観に関しては、まちの貴重な財産なので残していくべきだという意見が大半でしたが、反面残していくためには、市の補助金や、保存するための支援などが必要だという意見がありました。

これらの意見を参考にし、丹波町をはじめ、芸屋台など西地区の歴史的資源を活かしたまちづくりに、これからも取り組んでいきたいと思えます。

東地区「浜団地・八島公園周辺整備検討事業」

平成18年12月に、舞鶴TMOが中心市街地活性化のため、浜団地・八島公園周辺の整備について、『浜団地を建替える』『取り壊して公園にする』の2案を舞鶴市に提案しました。

この提案に対する市の検討結果の報告会（ワーキンググループ対象）が、去る11月12日に開催され、舞鶴市から「市としては浜団地の建替え案で検討してきたが、PFI方式（公共施設を民間の資金等を活用して建設する手法）でも採算が取れないという調査結果を受け、浜団地は取り壊し暫定的に公開空地とする。跡地利用については今後検討して行く」という内容の報告がされました。

出席者からは、「提案から2年近くかかっており、舞鶴市として今後どうするのか回答が欲しかった」「取り壊しなど今後のスケジュールを明確にしてほしい」などの意見が出ました。

今後の進め方については、再度舞鶴市と舞鶴TMOで調整する予定です。

会議報告

浜団地・八島公園周辺整備検討事業 報告会 平成20年11月12日(水) 舞鶴商工会議所 参加者:17名

京都・地域力連携拠点事業 弥生会計・弥生給与計算セミナーを実施

主催・舞鶴商工会議所
京都商工会議所

10月の4日間、11月の2日間、舞鶴市商工観光センター4階OA研修室にて、「経営力の向上・ITを活用した経営管理支援事業」の一環として事業所の経理・総務担当者の方々を対象に、便利な会計ソフトの活用についてのセミナーを行いました。

講師の(株)オフィスオオニシ代表の大西弘見氏の指導は、受講者から、分かりやすいと好評の声をいただき、実際に、パソコン会計を導入することとなった事業所も数社あり、実りあるセミナーとなりました。



セミナー風景

経営者のみなさま必見!!

経営セーフティ共済

「経営セーフティ共済」は中小企業倒産防止共済制度の愛称です。

もしものときに役立ちます。

もし取引先が倒産した場合、掛金の積立額の10倍の範囲内(最高3,200万円)で被害相当額の貸付けが、無担保・無保証人で受けられます。

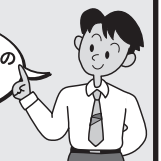
安心できる制度です。

国が全額出資の独立行政法人中小企業基盤整備機構が、法律に基づいて運営しております。

税制面でメリットがあります。

毎月の掛金は法人の場合は損金、個人の場合は必要経費に算入できます。

自社のリスクマネジメントの一つとしてお考え下さい。



本制度についてのお問い合わせ・お申し込みは

舞鶴商工会議所
TEL 62-4600

本制度は、独立行政法人 中小企業基盤整備機構が運営しております。
URL <http://www.smrj.go.jp/>